

- 参加者 : 「さらに施設整備を進め、待機児童の解消を図る」とあるが、単に保育園を増設することが待機児童の解消につながるのか疑問がある。アウトソーシング全体計画を参照したが、保育の質の確保について読み取れない。質の高低がある保育園が混在するようになると、親の間で情報共有され園の選択が行われるとともに、保育の質の低下への心配から母親の就労につながらず、潜在的待機児を生むことが考えられる。保育の質の保証をどう考えているのか、市民に明確に示してほしい。
- 参加者 : 現在つくしんぼの相談を利用しているが、全体計画によれば2年間かけて基幹園に相談機能を移管することとされており、民営化が進められた場合、現行のようなつくしんぼによる支援は受けられないこととなる。民間が運営する施設に十分な相談対応機能が備えられるか。子育ての施設を整備するという目的に著しく反することとなると思うが、なぜ保育の拡充につながるとされているのか、説明してほしい。目標に掲げておきながら実現できないということを、どう解決するのか。2年間で拡充するとされているが、親の立場では2年間待てない。
- 参加者 : 国分寺市で指定された指定管理者が、八王子市で監査により問題が発見され指名停止となっていることがわかった。本市においては、指定管理者をどのようにとらえているのか。市長交渉のときに私が学童保育所の役員として出席したときに、この件について問い合わせたところ、その事実がプレスで発表されたかどうかを聞かれ、公式に発表されていない事項について回答できないとされた。このため、八王子市のホームページに書き込みをしたところ、同市から平成22年度の監査で不正経理が発見され、今年度から指定管理を外した旨の情報提供があった。
- 部会長 : アウトソーシングを含めた施設整備計画について方向性等の確認をしたいことと、「地域のひろば」など地域の関与を含めた施策の詳細について知りたいという御要望があった。地域のひろばは、今後の市の施策の策定において重要な役割を持つものである。
- 事務局 : 地域のひろばは、協働コミュニティ課と福祉計画課の共同所管であり、部を超えた取り組みとしては初めてのものと考えている。地域づくり、地域福祉と呼び、地域のつながり・市民どうしのきずなを強めていく試みであり、行政からの仕掛けの一つである。行政の縦割りの考え方を地域の視点からとらえ直し、地域の生活課題を抽出し、地域の居住者や在勤者を交えて横断的に議論を行った。昨年は5つの中学校区ごとに開催したが、今年は10小学校で開催し、合計425人の市民に御参加いただいた。今後具体的に報告したい。地域には様々な団体があり、社会福祉協議会のここねっと事業などと連携を図りながら進めて参りたい。
- 部会長 : 指定管理の問題については、厚生部会の所掌にとどまらない事項であるため、御発言を受け止め、持ち帰って協議したい。
- 参加者 : 以前に公の書面で示すよう伝えられ、八王子市から指名停止に係る資料の提供を受けているので、お持ち帰りいただきたい。
- 委員 : 「地域のひろば」と「親子ひろば」の関係について、バギーを引いて親子ひろばへ通われている親の方たちは、地域の視点が欠かせないと考えている。地域が

子育て世代に対して愛情を持って御理解いただいているかが重要である。地域のひろばは開始されたばかりだが、子育て支援の拠点が地域に配置されていることの周知などから始めて、将来的に地域で何をすればよいかといったような話し合いができればと考えている。また、学童保育所・児童館の民間委託が事業の拡充につながらないのではないかと御意見について、現状の予算をベースにサービス拡充を図る手段の一つとして、指定管理導入を考えた。何が御不満なのかをよく伺って、その対策を図っていきたい。指定管理者の選定で色々な問題が起きているのは事実であるが、指定管理を導入した施設が高評価を得ている例もあり、必ずしも民間で運営することがマイナスだとは考えていない。

委員：保育園のアウトソーシングに係る心配についての御意見を多くいただいた。アウトソーシングを導入する背景について、資料１－４を御参照いただくと、公設公営保育所６園の定員は６０８名で、厳しい財政状況の中この定員を動かせない。公立保育所の正規職員数１０２名、嘱託職員５６名に臨時職員を加え、９,８００万円の予算で６０８名の保育にあたっている。待機児解消は市の全体計画でも目標に位置付けられており、また、サービス提供水準の維持向上も図らなければならない。子育て子育ていきいき計画では６００名の定員増を図るものとされている。平成２６年度には合計定員２,１００人にしていきたい。なお、保育の質について御発言があったが、保育師の質・予算規模・待機児数など質に関する視点はそれぞれで、保育現場で就業している職種によっても異なる。基幹園システムをつくり、民間事業者からの協力を得ながら、保育の質の確保に向けて取り組んで参りたい。

副部長：つくしんぼの支援は、現在も民間保育園を含めて実施している。

参加者：学童保育所の民間委託について、民間による運営はマイナスだとは思わないが、指定管理制度の導入が保育の質を保つことにつながるのか疑問がある。自治法の改正により指定管理者制度が導入されて１０年近く経過したが、色々な問題が現われている。どこをどうしたら質の確保につながるのかを、よく研究していただきたい。私は多摩地区の学童保育所連絡協議会に出席したが、長く公営を維持してきた国分寺市は、多摩地区でも高評価をいただいていたので、指定管理制度の導入は広く注目を浴びている。

参加者：待機児解消のために保育園の増設を図ることには、誰も不満がないと思う。今後１０年間で子どもの人口が減少すると保育施設の減少が図られ、現在の計画案では公営の保育園が１園になる。将来地域の保育園がなくなってしまうことを考慮して計画が立てられているのか。３月１１日の震災の際に、電話連絡が不可能な中、人事異動で以前と別の園に所属している顔見知りの保育師の存在が心強かった。このことは、民間の園では望めないかもしれない。自分たちの子どもが将来成人したときに、利用することができる保育園があってほしい。

参加者：所沢市の図書館民間委託について、受託事業者の経営状況に問題があり、倒産した際は公営に戻すことを前提に委託されたと聞いた。国分寺駅北口の駐輪場で横領事件があったが、事業者は変更されていない。新宿区では、委託事業所の全員が退職してしまった例を聞いた。何かが起こった際に公営に戻すことが考えられていないと、不安な状態のまま子どもを預けなければならない。もしもの場合は公が責任を持つ旨を保障してほしい。

- 部会長：少子化が進むなかで、皆が子育てをどう支えていくかが重要だと思う。つくしんぼの支援は、現在も民間保育園を含めて実施している。今回策定する計画は平成 28 年度までの5年間についてのもので、どういう施策の方向性が出されているのかについて、情報提供ができればと思う。
- 参加者：アウトソーシングの導入がどの程度財政的メリットがあるのか知りたい。また、公設保育園の減少がなされていくと、正規職員数も減少するので、民営保育園のサポートにあたるような職員がいなくなるのではないかな。通常はリスクも考えて、あまり急激な転換は行われないうちに思う。
- 副部会長：全体計画策定時に、アウトソーシング導入に係る費用の試算をお示ししている。今回は長期総合計画策定ということで、そこまでの資料は出していない。公設公営と民設民営の財政的な大きな相違は、民設民営には国と都の補助金が交付され、基本的な経費のおおむね4分の3が補助されるので、市の負担は大きく軽減される。
- 委員：資料1－4を御覧いただくと、今後の整備予定を含めた定員は1,979名で、平成26年には定員を2,100名程度まであげてことを計画している。子ども一人あたりの保育士の配置数などのランニングコストがあって、職員を減員した分は運営に回すような手法をとる。現在の予算規模により保育の質を保ちながら待機児を解消していくにあたっては、多少の経費増はあっても、民間も対象に含めた研修制度等により対応していきたい。
- 副部会長：全体計画に位置付けた基幹となる公設園は3園である。今後は、いかに協力して民間保育所を立ち上げていくかが大きな課題となる。事業者選定手続に配慮し、長く運営していただける事業者へお願いするような形をとりたい。また、アウトソーシングの受託者に問題が生じたときは、公が責任を持って解決にあたることをお伝えしたい。
- 参加者：アウトソーシングは外部委託のことと考えるが、お子さんを預けている親御さんの気持ちになれば、心配があることはわかる。一方で市の財政状況はわかるが、財政難を理由に学童保育所を減らすことは不可能である。公営と民営で開館時間に差がある。上から機械的にアウトソーシングを前提にしてしまうのではなく、様々な事情の中でやむを得ずそうした手法をとるという形で伝えてはどうか。なお、児童館のほこりっぽさなど環境に心配があり、当座の対策と将来の対策を考える必要がある。子どもが集団で体調を崩して、児童館が休園になるようなことがないようにしてほしい。
- 参加者：民営化導入について、資料1－3の45ページの当初計画ではアウトソーシングを検討するとなっていたのが、見直し整理票では実施するとなっており、いつ検討して導入が決められたのかがよくわからない。今の方針を決めるのにあたり、市民の意見を反映する場は設けられていなかったように思う。2001年のOECD保育白書では、子どもの保育を市場化すると失敗するので公が担うものだと提唱された。
- 参加者：この後に本日話し合うべき項目が7つある。冒頭でお一人2分の発言とするよう約束されたが、それを守って進行してほしい。
- 部会長：保育サービスの整備、運営及び供給体制に関する全体計画と、市立児童館学童保育所アウトソーシング実施計画に関する御質問が多数あった。